

～どの子も育つ 育て方ひとつ～

# スズキ・メソードの 指導者養成について

- 准指導者制度
- 初級指導者制度【ピアノ科】
- 初級指導者制度【フルート科】



## ☆スズキ・メソードの指導者として必要な要素

1. スズキ・メソードの理念を理解している事
1. スズキ・メソードに基づく高度な指導力を有する事
1. スズキ・メソードを実践するための優れた人間力を有する事
1. 教室運営力（実務力）を備えている事

※それぞれ同等な価値があり、4つのバランスが取れている必要があります

## スズキ・メソッドとは

生まれたばかりの赤ちゃんは、ことばを話すことができません。

しかし、お父さんやお母さんをはじめとした周りの人たちの話すことばを毎日繰り返し耳にすることで、自然にその言語を身につけ、いつの間にか話せるようになります。

スズキ・メソッドは、この『**母語\*の教育法**』をもとにして生まれた教育法です。

「**どの子も育つ、育て方ひとつ**」をモットーに、音楽を通した人間教育を目指しています。

良い音楽をたくさん聞くことで、耳から自然に音楽的センスを身に付け、楽器を習得しながら豊かな心と様々な能力(意欲、忍耐力、協調性、etc.)を育みます。

\*母語(ぼご)とは、幼児が最初に覚える言語のことで、第一言語ともいいます。これまでは母国語という表現が一般的でしたが、最近の研究で必ずしも言語が国家と結びつくものではない、という考え方から、スズキ・メソッドでは母国語をすべて母語と表記するようになりました。



### スズキ・メソッドの創始者 鈴木鎮一

彼が日本中の子どもが日本語を話しているということに気が付いたことから、スズキ・メソッドは始まりました

## スズキ・メソードの音楽教室

### ☆ヴァイオリン・チェロ・フルート・ピアノの4つの楽器科があります

スズキ・メソードの教本には各楽器科で共通の曲が沢山あるので、初級から異なる楽器とのアンサンブルを楽しめます。

### ☆全国各地で教室が開かれています

指導者は北海道・東北、関東、甲信、北陸越、東海、関西、中国・四国、九州、沖縄のいずれかの地区に所属します

### ☆お手本となる演奏をよく“聴く”こと、きれいな“音”をつくること、弾ける曲を何度も“くり返し”練習することを大切にしています

練習は弾けるようになってからが本番です。くり返しの練習で音をみがき、立派な演奏を目指します。

### ☆親子で一緒に学ぶことを基本としています

家での練習は保護者に見てもらいます。小さな子どものレッスンでは、保護者への指導が重要になります。

## スズキ・メソードの指導者

どの子も育つ、親次第      どの子も育つ、先生次第      どの子も育つ、本人次第

スズキ・メソード指導者の仕事は、「どの子も育つ、育て方ひとつ」の理念のもと、才能(能力)は生まれつきではないという子どもの「無限の可能性」を信じ、「親、指導者、本人」の三者で力を合わせてその成長をサポートすることです。

そして、生徒の為に日々研鑽を積むことです。

スズキ・メソードの創始者鈴木鎮一は、事あるごとに「教育」という字の持つ意味を理解してほしいと指導者に伝えていました。

「教育とは教え育てること」の精神をもって子供たちを育てていきましょう。

## 卒業制度

スズキ・メソード音楽教室の特色に、**卒業制度**があります。数段階に分かれた課題曲の録音を提出して検定を受け合格(卒業)を目指すもので、目標を明示することで生徒の“やる気”を育てながら指導をします。スズキ・メソードの指導者には「**正指導者**」・「**准指導者**」・「**初級指導者**」の3段階があり、指導できる生徒のレベル(課題曲)が異なります。

**正指導者**      . . .      すべての課程の生徒を指導できます。

**准指導者**      . . .      才能教育課程卒業までの生徒を指導できます。

**初級指導者**      . . .      中等科までの生徒を指導できます ※初級指導者はピアノ科とフルート科のみ

－卒業制度課題曲一覧（2023年度版）－

♪ヴァイオリン科		指導レベル	
課程	卒業課題曲	正指	准指
前期初等科	ガヴォット／ゴセック	○	○
初等科	ブーレ／バッハ	○	○
前期中等科	協奏曲 イ短調 第1楽章／ヴィヴァルディ	○	○
中等科	協奏曲 ト短調 第1楽章／ヴィヴァルディ	○	○
前期高等科	ラ・フォリア／コレルリ	○	○
高等科	協奏曲 イ短調 全楽章／バッハ	○	○
才能教育課程卒業	* (1) 協奏曲 第4番 全楽章／モーツァルト * (2) 協奏曲 第5番 全楽章／モーツァルト	○	○
研究科A	協奏曲 ホ長調 BWV1042 全楽章／バッハ	○	
研究科B	* (1) ロンド／モーツァルト + シシリアーノ／パラディス * (2) 前奏曲とアレグロ／クライスラー + シシリアーノ／パラディス * (3) シャコンヌ／ヴィタリ	○	
研究科C	協奏曲 ホ短調 全楽章／メンデルスゾーン	○	

\*1つを選択します

♪チェロ科		指導レベル	
課程	卒業課題曲	正指	准指
前期初等科	メヌエット第2番／バッハ	○	○
初等科	メヌエット ト長調／ベートーヴェン	○	○
中等科	ソナタ ホ短調 第1,2楽章／ヴィヴァルディ	○	○
前期高等科	ソナタ 第1,2楽章／エックレス	○	○
高等科	ソナタ ト長調 全楽章／サンマルティーニ	○	○
才能教育課程卒業	* (1) 協奏曲 変口長調 全楽章／ボッケリーニ * (2) 協奏曲 ハ長調 全楽章／ハイドン	○	○
研究科A	* (1) 無伴奏組曲 第3番全曲／バッハ * (2) 無伴奏組曲 第3番よりプレリュード／バッハ + ソナタ ホ長調 第1,2楽章／フランクフル * (3) 無伴奏組曲 第3番よりプレリュード／バッハ + ハンガリアンラブソディー／ポッパー	○	
研究科B	協奏曲 第1番 全楽章／サン＝サーンス	○	
研究科C	* (1) ソナタ ホ短調 全楽章／ブラームス * (2) 協奏曲 二長調 全楽章／ハイドン * (3) 協奏曲 二短調 全楽章／ラロ	○	

♪フルート科		指導レベル		
課程	卒業課題曲	正指	准指	初級
前期初等科	ブーレ／ヘンデル	○	○	○
初等科	歌の翼に／メンデルスゾーン	○	○	○
前期中等科	メヌエット(アルルの女より)／ビゼー	○	○	○
中等科	ソナタ第 1, 2, 3 楽章／ブラベー	○	○	○
前期高等科	ヴェニスの謝肉祭／ジュナン	○	○	
高等科	協奏曲 ト長調 全楽章／クヴァンツ	○	○	
才能教育課程卒業	協奏曲 二長調 全楽章／モーツァルト	○	○	
研究科 A	ハンガリー田園幻想曲／ドップラー	○		
研究科 B	協奏曲 ト長調 全楽章／モーツァルト	○		
研究科 C	* (1) 協奏曲 全楽章／尾高尚忠 * (2) 協奏曲 全楽章／イベール	○		

\*1 つを選択します

♪ピアノ科		指導レベル		
課程	卒業課題曲	正指	准指	初級
前期初等科	メヌエット ト長調／伝バッハ	○	○	○
初等科	ソナチネ作品 36-3 第 1 楽章／クレメンティ	○	○	○
前期中等科	メヌエット 1, 2 とジグ(パルティータ第 1 番より)／バッハ	○	○	○
中等科	ソナタ ハ長調 K.545 全楽章／モーツァルト	○	○	○
前期高等科	ソナタ イ長調 K.331 全楽章／モーツァルト	○	○	
高等科	イタリア協奏曲 全楽章／バッハ	○	○	
才能教育課程卒業	* (1) 協奏曲 第 26 番二長調「戴冠式」K.537／モーツァルト * (2) 協奏曲 第 23 番イ長調 K.488／モーツァルト * (3) 協奏曲 第 12 番イ長調 K.414／モーツァルト	○	○	
研究科 A	* (1) パルティータ 第 1 番 全曲／バッハ * (2) フランス組曲より 1 組曲／バッハ	○		
研究科 B	* (1) ソナタ第 23 番「熱情」／ベートーヴェン * (2) ソナタ第 8 番「悲愴」／ベートーヴェン * (3) ソナタ第 14 番「月光」／ベートーヴェン * (4) ソナタ第 17 番「テンペスト」／ベートーヴェン	○		

\*1 つを選択します

## 正指導者になるには・・・

まずは研修生、または初級指導者となり、准指導者を目指します。准指導者は、特別講師による研究科各課程曲のレッスンを終え、必要な条件を満たせば、**正指導者**として認定を受けることができます。

### 准指導者制度の流れ

1. 申請書類を揃え、本部事務局に提出する
2. 研修生となるための試験を受ける
3. 試験に合格したら、研修生として登録し、准指導者となるための講習を開始
4. 全ての講習を終えたら、准指導者認定試験を受ける
5. 認定試験に合格後、必要な書類を提出し、教育部員登録料(8万円)を振り込む
6. **准指導者**に認定される
7. **准指導者**として指導経験を積みつつ、**正指導者**を目指す

### 初級指導者制度の流れ

1. 申請書類を揃え、本部事務局に提出する(フルート科は教本第1巻の指導講習を受ける)
2. 初級指導者認定試験を受ける
3. 認定試験に合格後、必要な書類を提出し、初級指導者の教育部員登録料(3万円)を振り込む
4. **初級指導者**に認定される
5. **初級指導者**として指導経験を積みつつ、担当指導者の下で指導法を学び、**准指導者**を目指す
6. 准指導者となるための課題を全て終えたら、残りの教育部員登録料(5万円)を振り込む
7. **准指導者**に認定される
8. **准指導者**として更に指導経験を積みつつ、**正指導者**を目指す

※准指導者研修生および初級指導者には、基本的に**担当指導者**が1名付き、親指導者と共に正指導者となるまでの指導法レッスンやサポートを行います。各地区の担当指導者一覧はP18をご参照ください。

※親指導者とは、スズキ・メソッドで学んだ際に師事した指導者のことを指します。親指導者がいない場合や、いても指導歴が20年に満たない場合は、指導歴20年以上の正指導者を1名選び、親指導者として配します。

※スズキ・メソッドの指導者養成制度受講に当たり、スズキ・メソッドの出身であることは必須条件ではありません。

## 准指導者制度【ヴァイオリン科・チェロ科・ピアノ科・フルート科】

准指導者になるには、**研修生**として実技や指導法の講習を受講した後、認定試験を受けます。試験に合格して准指導者に認定されると、自身の教室を開き、**才能教育課程卒業までの生徒の指導**が可能になります。そして、教室での指導と並行して正指導者となるための講習を受けていただきます。

### 1. 研修生になるための手続き（試験）

**資格：**次の①～③の条件を満たしていること

- ① 高等学校卒業、またはこれと同等以上の学力を有する者
- ② 才能教育研究会に於いて規定した卒業制度の「才能教育課程卒業科」を卒業した者、またはそれと同等の能力を有する者
- ③ 正指導者1名の推薦を受けている者、または会長が適当と認めた者

**申請書類：**次の①～③を本部事務局(〒390-8511 松本市深志 3-10-3)に提出すること

- ① 研修受講申請書
- ② 推薦状
- ③ 「スズキの指導者を志望する動機」について 1,000 文字以内の文章

**試験：**演奏審査および面接 ☆日程と会場は申請書類受付後に調整し、各自に通知します  
(課題曲) 才能教育課程卒業曲 ☆演奏審査はビデオの提出を求める場合もあり

※審査料：10,000 円+消費税

試験結果は後日送付します。合格者は**准指導者研修生**に登録し、必要な講習を受けていただきます。

※年間登録料：10,000 円+消費税

### 2. 研修生の講習内容

#### 《実技・指導法レッスン》

担当指導者(と親指導者)より、スズキ・メソードの**教本 1 巻～才能教育課程卒業までの全ての曲**のレッスンを受講してください。担当指導者がいない地区では親指導者1名による指導となります。

※受講料：5,000 円+消費税/時間

ただし、研修スタートから3年、もしくは合計レッスン時間が40時間に達するまでは、本会が半額(2,500 円+消費税)を負担します。

レッスンを終えた教本の曲は、**確認試験**に合格することで習得を認められます。

試験の実施時期は担当指導者が判断し決定します。試験時の演奏には、ピアノ伴奏を付けてください(教本付属の伴奏 CD の使用も可)。審査は親指導者と担当指導者、または地区の正指導者が行います。ヴァイオリン、チェロ、フルート科は全巻暗譜、ピアノ科は4巻まで暗譜で弾くものとします。

※伴奏料：研修生の負担となります

## 《見学》

指導法レッスンの受講と平行して、指導現場の見学を3名の正指導者のもとで行ってください。(才能教育課程を卒業している場合は、親指導者と他1名の計2名の正指導者の教室を見学します。) 見学は概ね次のように行われます。

- ・個人レッスン見学は生徒5名以上を連続3回、ピアノ科は生徒5名以上を連続4回以上行う。
- ・ヴァイオリン、チェロ、フルート科は3名の指導者のもとでグループレッスンの見学をする。

## 《指導現場での高等科までの指導実習体験》

担当指導者並びに親指導者、または地区の他の担当指導者の指導教室にて生徒の「指導実習」をしてください。指導対象は高等科までを学習中の生徒です。指導実習は、原則として教本の習得確認試験を全て終了した後に行うものとします。

担当指導者と親指導者等、2名以上の指導者のもとで、各10時間以上レッスンをしてください。

※実習費用：25,000円+消費税/1教室

## 《才能教育法講義の受講》

研修生は教本の担当指導者を通じて「実践的な才能教育法」を学ぶ他、本会行事(6月の全国指導者研究会と7月末～8月初めの夏期学校)の期間中に90分ずつ才能教育法の講義を受講します。

※受講料：3,000円+消費税/回

## 《その他の講義・課題》

全国指導者研究会、夏期学校、およびその前後に集中講義が開かれることがあります。参加は原則義務です。

※受講料：3,000円+消費税/回

## 《課題図書 の購読とレポート提出》

課題図書は全部で6つあり、1つ読み終える毎にレポート(1,000～2,000字)を提出します。

研修生は1年を目途に全ての課題図書のレポートを提出してください。

♪ 研修生課題図書一覧：

- 課題図書 1 愛に生きる (鈴木鎮一)
- 課題図書 2 奏法の哲学 (鈴木鎮一)
- 課題図書 3 才能開発は0歳から－復刻版 (鈴木鎮一)
- 課題図書 4 幼児の才能教育 (鈴木鎮一)
- 課題図書 5 どの子どもも育つ教育法－本郷小学校の実験教室 (才能教育研究会 編)
- 課題図書 6 「どの子どもも育つ、育て方ひとつ」\*動画 (鈴木鎮一)

## 3. 講習終了の目安

研修生は、3年を目途に全カリキュラムを終了してください。(最長6年まで)



## 4. 准指導者の認定

研修生は全ての講習・課題を終了後、以下の認定試験と評価を受け、准指導者に認定されます。

### 《認定試験》

#### ① 実技試験

- ・本会卒業制度の才能教育課程卒業曲の1曲の全楽章を演奏する
  - ・ヴァイオリン、チェロ、フルート科は暗譜、ピアノ科は原則として暗譜
  - ・検定場所は各地区で行うことを基本とし、担当指導者2名(親指導者を除く)が審査を行う
- ※試験料：10,000円+消費税

研修生試験時の演奏審査にて試験官が認めた場合、認定試験における実技試験は免除されます。

#### ② 音楽理論・ソルフェージュ試験

研修生は音楽理論、ソルフェージュ(視唱、視奏)、聴音(旋律、和音)の基礎的な内容について自己研鑽し、検定を受けるものとします。

※試験料：5,000円+消費税

音楽大学・音楽短期大学(又は教育学部音楽科、それに準ずるカリキュラムを有する学科)卒業の場合、音楽理論・ソルフェージュ試験は免除されます。

再試験の場合は、それぞれについて改めて費用が必要となります。

### 《評価》

#### ① 指導実習による生徒への指導実技評価

指導実習に携わった指導者2名(原則、親指導者と担当指導者)が行います。

#### ② レポート「スズキ・メソードについて」

1,500～2,000字程度のレポートを書き、提出してください。

審査は正指導者2名(原則、親指導者と担当指導者)が行います。

准指導者認定は、親指導者と担当指導者計2名の推薦を受け、会長が行います。

## 5. 准指導者の義務

- ・才能教育研究会の正会員となること
  - ※正会員会費：年額26,400円(年2回分割での引落とし)
- ・教育部部員となること
  - ※部員資格認定料：80,000円
- ・各地区指導者会に所属し、教育部規程を遵守すること
- ・才能教育研究会主催行事(全国指導者研究会、夏期学校、グランドコンサート)に参加すること

## 6. 正指導者との違い

- ・教育部部員が有する被選挙権はありません
- ・准指導者が受け持つ生徒は、卒業制度で才能教育課程卒業までの検定を受けることができます

## 7. 正指導者資格の認定

### 《特別講師によるレッスン》

卒業制度の研究科各曲を中心に特別講師よりレッスンを受けてください。

特別講師によるレッスンの受講は准指導者の義務ですが、特別講師が認めた場合は免除されます。

※受講料：10,000 円＋消費税／時間

※受講時間：12 時間以内\*

\*レッスン時間について、ヴァイオリン科においては単位制を認め、研究科 ABC を各 1 単位として 3 単位を取得するものとし、3 単位をそれぞれ異なる特別講師から取得することも可能です。特別講師のレッスン時間は、ABC 各 6 時間以内とします。

特別講師による研究科各曲のレッスンは、研修生期間でも親指導者、担当指導者の判断により受講することができ、受講後は正指導者になるために必要な履修時間として数えられます。

複数の特別講師がいる楽器科では、科毎に別の特別講師からレッスンを受けることも可能です。

### 《認定試験》

研究科各課程曲をマスターしたら、**最終課程曲の公開演奏**をしてください。

その際の聴者には、次の内の最低 1 人を含むものとし、上限 3 名までとします。

- ・該当する楽器の正指導者
- ・該当する楽器の特別講師
- ・正指導者資格の認定を受けようとする准指導者の親指導者
- ・該当する地区の担当指導者

正指導者の資格を得るには、認定試験に合格することの他に、准指導者としての**経験が 1 年以上あり**、自身の生徒の**卒業録音を提出したことがある**ことが条件になります。

その上で、教育部規程の順守や指導実績を考慮し、担当指導者 1 名と楽器科特別講師の推薦を受け、会長が認定をします。

☆指導を始めてから 3 年を目途に正指導者になることを目指してください

♪准指導者になるための手続きは以上ですが、会長が特に認めた場合は、この限りではありません。

## 初級指導者制度【ピアノ科】

ピアノ科初級指導者になるには、必要な書類を提出の上、認定試験を受けます。

ピアノ科初級指導者に認定されると、自身の教室を開き、**中等科までの生徒の指導**が可能となります。そして、教室での指導と並行して、准指導者～正指導者となるための講習を受けていただきます。

### 1. 初級指導者になるための手続き(試験)

**資格：**20歳以上で、次の①または②の条件を満たしていること

- ① 音楽大学・音楽短期大学(または教育学部音楽科、それに準ずるカリキュラムの学科)卒業生、またはそれに準ずる者
- ② 高等学校卒業または同等以上の学力を有し、スズキ・メソードの卒業制度にて研究科Bを卒業していることに加え、親指導者もしくはピアノ科地区委員長の推薦を受けている者(推薦状の提出が必要)

**申請書類：**次の①～⑤を本部事務局(〒390-8511 松本市深志 3-10-3)に提出すること

- ① ピアノ科初級指導者認定試験申込書
- ② 履歴書
- ③ 最終学歴の卒業証明書
- ④ 鈴木鎮一著「愛に生きる」または「才能開発は0歳から(復刻版)」を読んだレポート(1,000字程度)
- ⑤ 志望動機(400字以内)

**認定試験：**演奏審査および面接 ☆日程と会場は申請書類受付後に調整し、各自に通知します

#### I. 生徒を持たずに入会する場合

- ・当日指定される課題曲\*数曲の演奏(暗譜でなくてもよい)  
\*課題曲については後述の「認定試験時の演奏課題曲」を参照
- ・5～10分程度の自由曲(楽譜出版のある曲)の演奏(暗譜)
- ・3名の面接官(担当指導者)による面接  
※試験料：10,000円＋消費税

#### II. 生徒と共に入会する場合(一般の指導法で教えている先生が、生徒を連れてスズキに加わる場合)

- ・当日指定される課題曲\*数曲の演奏(暗譜でなくてもよい)  
\*課題曲については後述の「認定試験時の演奏課題曲」を参照
- ・自由曲の演奏は免除とする
- ・3名の面接官(担当指導者)による面接  
※試験料：5,000円＋消費税

面接と演奏全てを録画し、それぞれの担当指導者評価とともに、ピアノ科特別講師が確認した上で、特別講師の推薦を受けて会長が認定を行います。

## 認定試験時の演奏課題曲

### ★教本 1 巻より

キラキラ星変奏曲(鈴木鎮一)、ぶんぶんぶん(ボヘミア民謡)、  
かっこう(ドイツ民謡)、ちょうちょう(ドイツ民謡)、こどもの歌(フランス民謡)、  
ロンドン橋(イギリス民謡)、メリーさんの羊(アメリカ童謡)、  
むすんでひらいて(民謡)、月の光(リュリ)、ロング・ロング・アゴー(ベイリー)、  
おともだち(クワタル)、アラビアの歌(作曲者不詳)、  
アレグレット 1(チェルニー)、冬よさようなら(民謡)、  
アレグレット 2(チェルニー)、クリスマスデイ・シークレット(デュットン)、  
アレグロ(鈴木鎮一)、ミュゼット(作曲者不詳)

### ★教本 2 巻より

エコセーズ(フンメル)、短い物語(リヒナー)、楽しき農夫(シューマン)、  
メヌエット ト長調 クラヴィア組曲 ト短調 BWV822 より(バッハ)、  
メヌエット ト長調 アンナ・マクダレーナ・バッハのための音楽帳より BWV.Anh.116(伝バッハ)

ピアノ科教本については、才能教育研究会本部事務局または東京事務所までお問い合わせください。

## 2. 初級指導者の義務

- ・才能教育研究会の正会員となること  
※正会員会費：年額 26,400 円(年 2 回分割での引落とし)
- ・教育部部員となること  
※初級指導者部員資格認定料：30,000 円
- ・各地区指導者会に所属し、教育部規程を遵守すること
- ・才能教育研究会主催行事(全国指導者研究会、夏期学校、グランドコンサート)に参加すること

## 3. 初級指導者から准指導者になるには

初級指導者に認定されたら、その時点から **3 年**をめど(最長 6 年)に次の①～⑦を**義務**と課します。

### ① レッスン見学

実際の個人レッスンの現場を 20～30 時間見学してください。

ただし、初級指導者本人の経験から担当指導者と地区委員長が適当と判断した場合、親指導者以外の教室を見学してレポートを提出することで、終了とすることもあります。

## ② 教本指導法のレッスン

担当指導者による指導曲集(教本)1巻～才能教育課程卒業曲の指導法レッスンを受講し、曲毎に認定を受けていただきます。受講時間について、初級教本曲(1巻～6巻のソナタ K.545 まで)は10～20時間、中級教本曲(6巻のソナタ K.545 以降～8巻と才能教育課程卒業曲まで)\*は10～15時間を目安とします。

※受講料：5,000円＋消費税／時間

ただし、初級指導者認定から3年、もしくは合計レッスン時間が40時間に達するまでは、本会が半額(2,500円＋消費税)を負担します。

\*中級教本曲については、模擬レッスンの映像審査を受けて合格と認められた場合、受講を免除とすることができます。模擬レッスンは親指導者または1名の担当指導者の立会いのもと撮影し、特別講師に提出します。模擬レッスンの曲目は、予め特別講師に申請し、了承を得る必要があります。

※特別講師による模擬レッスン審査料：10,000円＋消費税

## ③ 指導者研究会、夏期学校、およびその前後に開催する集中講義の受講

※受講料：3,000円＋消費税／回

## ④ 音楽理論・ソルフェージュ試験

音楽理論、ソルフェージュ(視唱、視奏)、聴音(旋律、和音)について検定を受けていただきます。試験の内容は基礎的なものです

※試験料：5,000円＋消費税

音楽大学・音楽短期大学(又は教育学部音楽科、それに準ずるカリキュラムを有する学科)卒業の場合、音楽理論・ソルフェージュ試験は免除されます。

## ⑤ 実技演奏試験

卒業制度の『才能教育課程卒業科』の課題曲より1曲を選択して、担当指導者2名の前で演奏し、審査を受けていただきます。演奏は暗譜が望ましいですが、暗譜でなくても可とします。立会の担当指導者が1名の場合、演奏ビデオを特別講師に提出し合格の認定を得る必要があります。

※試験料：10,000円＋消費税

## ⑥ レポート

「スズキ・メソードについて」のレポート(1,500～2,000字程度)を提出してください。

## ⑦ 卒業録音の提出

指導した生徒の卒業制度課題曲の演奏を録音し、申請書と共に提出してください。

卒業録音の提出は毎年10～11月に受け付けます。

上記の課題を全て終えたら、教育部規程の順守や指導実績を考慮した上で特別講師が推薦を行い、会長が准指導者の認定をします。

※准指導者資格認定料：50,000円

## 初級指導者制度【フルート科】

フルート科初級指導者になるためには、第1巻の教本指導講習を完了した後、必要書類を提出の上、認定試験を受けます。フルート科初級指導者に認定されると、中等科までの生徒の指導が可能となり、教室での指導と並行して、准指導者、正指導者認定のための講習を受けていただきます。

### 1. 初級指導者になるための手続き(試験)

**資格：**次の①～③いずれかの条件を満たしている者が、第1巻の教本指導講習を受講すること

- ① 音楽大学・音楽短期大学(又は教育学部音楽科フルート科専攻、それに準ずるカリキュラムの学科)を卒業している者。またはそれに準ずる者
- ② スズキ・メソッドの卒業制度にて才能教育課程以上を修了、または修了見込み(おおむね1年以内の修了見込み)であり、親指導者もしくは担当指導者の推薦を得た者(推薦状の提出が必要)
- ③ 民間音楽教育のフルート認定指導者資格を有する者

#### 《第1巻の教本指導講習》

- a. 担当指導者による講習：楽器の適切な選定、発音指導、トナリゼーション、第1巻各曲の指導法計20時間(集団合宿形式、個人レッスン形式いずれも可)
- b. 正指導者の教室でのレッスン見学5時間とレポート提出。担当指導者の証明を受ける
- c. 特別講師レッスン3時間、必要に応じて補講あり

受講希望者は、受講申込書を本部事務局(〒390-8511 松本市深志 3-10-3)に提出してください。

日本国外でのスズキフルート正規指導者資格を持ち、第1巻のトレーニングを終えている場合、正規トレーナー資格を持っている、あるいはそれらと同等の指導力を有すると認定される場合には、状況に応じて上記a～cのいずれか(あるいは全て)が免除されることがあります。

※担当指導者レッスン受講料：5,000円＋消費税／時間

※特別講師レッスン受講料：10,000円＋消費税／時間

担当指導者のレッスン受講料について、講習スタートから3年もしくは教本1巻～4巻のレッスン合計時間が40時間に達するまでは、半額(2,500円)を本会が負担します。

**申請書類：**第1巻の教本指導講習を終えたら、次の①～③を本部事務局に提出すること

- ① 履歴書
- ② 最終学歴の卒業証明書
- ③ 志望動機(400字以内)

**認定試験：**演奏審査および面接 ☆日程と会場は申請書類受付後に調整し、各自に通知します

- ・2名以上の面接官(担当指導者もしくは特別講師)による面接
- ・教本1巻から当日指定される課題曲数曲の演奏(暗譜でなくてもよい)
- ・5～10分程度の自由曲(楽譜出版のある曲)の演奏(暗譜)

面接と演奏全てを録画し、それぞれの担当指導者評価とともに、フルート科特別講師が確認した上で、特別講師の推薦を受けて会長が認定を行います。

※試験料：10,000円＋消費税

## 2. 初級指導者の義務

- ・才能教育研究会の正会員となること  
    ※正会員会費：年額26,400円(年2回分割での引落とし)
- ・教育部部員となること  
    ※初級指導者部員資格認定料：30,000円
- ・各地区指導者に所属し、教育部規程を遵守すること
- ・才能教育研究会主催行事(全国指導者研究会、夏期学校、グランドコンサート)に参加すること

## 3. 初級指導者から准指導者になるには

初級指導者に認定されたら、その時点から**5～10年**を目途に次の①～⑦の課題を全て終えて下さい。

### ① レッスン見学

実際の個人レッスンの現場を15時間以上見学します。

### ② 教本指導法のレッスン

**指導曲集2巻～才能教育課程卒業科までの曲**と指導法のレッスンを、担当指導者より各巻につき10時間以上、特別講師より各巻につき3時間以上受講し、それぞれ認定を受けていただきます。2～4巻のレッスンは、初級指導者認定後5年以内に終了してください。

※担当指導者レッスン料：5,000円＋消費税／時間

※特別講師レッスン料：10,000円＋消費税／時間

担当指導者のレッスン受講料について、講習スタートから3年、もしくは教本1～4巻のレッスン合計時間が40時間に達するまでは、半額(2,500円＋消費税)を本会が負担します。

日本国外でスズキフルート正規指導者資格を取得し、当各巻のトレーニングを終えている、正規トレーナー資格を持っている、あるいはそれらと同等の指導力を有すると認定される場合には、レッスンが免除されることがあります。

### ③ 指導者研究会、夏期学校、およびその前後に開催する集中講義の受講

※受講料：3,000 円+消費税/回

### ④ 音楽理論・ソルフェージュ試験

音楽理論、ソルフェージュ(視唱、視奏)、聴音(旋律、和音)について検定を受けていただきます。  
試験の内容は基礎的なものです

※試験料：5,000 円+消費税

音楽大学・音楽短期大学(又は教育学部音楽科、それに準ずるカリキュラムを有する学科)卒業の場合、音楽理論・ソルフェージュ試験は免除されます。

### ⑤ 課題図書

鈴木鎮一著「愛に生きる」もしくは「才能開発は0歳から(復刻版)」を読んで、レポート(1,000字程度)を提出してください。

### ⑥ レポート

「スズキ・メソードについて」のレポート(2,000字程度)を提出してください。

### ⑦ 卒業録音の提出

指導した生徒の卒業制度課題曲の演奏を録音し、申請書と共に提出してください。

卒業録音の提出は毎年10～11月に受け付けます。

上記の課題を全て終えたら、教育部規程の順守や指導実績を考慮した上で特別講師が推薦を行い、会長が准指導者の認定をします。

※准指導者資格認定料：50,000 円

ただし、受け持ち生徒がない場合は、卒業録音を提出する代わりに、担当指導者または親指導者の生徒が卒業録音のために受けるレッスンを5回見学し検定の録音まで立ち会うことで、准指導者認定の申請が可能です。

## 正指導者資格の認定(初級指導者制度)

特別講師(または講師)による研究科各課程曲のレッスンを受講します。

※受講料：10,000 円+消費税/時間

全曲をマスターしたら、認定試験として研究科最終課程の課題曲の中から1曲を公開演奏します。

初級指導者から准指導者を経て正指導者の資格を得るには、認定試験に合格することの他に、**准指導者としての経験が1年以上あること**が条件になります。その上で、教育部規程の順守や指導実績を考慮し、担当指導者1名と楽器科特別講師の推薦を受け、会長が認定を行います。

♪初級指導者制度の手続きは以上ですが、会長が特に認めた場合は、この限りではありません。



## ☆☆特別講師紹介 ☆☆

### 特別講師長、ピアノ科特別講師：東 誠三



©Ariga Terasawa

幼少より、スズキ・メソード片岡ハルコ氏の下でピアノの基礎教育を受けた後、東京音楽大学付属高校から東京音楽大学へ。1983年日本音楽コンクール優勝後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学し、J.ルヴィエ、J.C.ペヌティエ氏らに師事。ポツォーリ国際コンクール第1位、ヴィオッティ・ヴァルセジヤ国際コンクール第1位など輝かしい実績を持つ。主要オーケストラへの客演、リサイタル活動の他、室内楽にも強い意欲を示し、東京フィル・コンサートマスター三浦章広 (Vn)、N響首席チェリスト、藤森亮一 (Vc) と結成した「ボアヴェール・トリオ」での活動を始め、多くのトップ・ソリストたちと共演。

現在、東京藝術大学教授、東京音楽大学客員教授、日本音楽コンクール他、国内外の主要コンクールでの審査員を務めている。日本ショパン協会理事。

2007年より国際スズキ・メソード音楽院教授、2018年よりスズキ・メソード特別講師及び特別講師長。

### ヴァイオリン科特別講師：竹澤 恭子



3歳よりスズキ・メソードでヴァイオリンを始め山村晶一、小林健次両氏に師事。桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、黒柳賞を受賞。ジュリアード音楽院でドロシー・ディレイ、川崎雅夫両氏に師事し、1986年インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクールで圧倒的な優勝を飾る。これまで、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロンドン響、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響など、世界の主要オーケストラと共演。指揮者ではヘルベルト・ブロムシュテット、ズービン・メータ、小沢征爾など、室内楽では、アイザック・スターン、ヨーヨー・マ、東京クワルテットらと共演。ルツェルンなどの世界各地の音楽祭やロンティボーなどの国際コンクール審査員にも定期的に招かれるなど、幅広い活動を続けている。

現在、桐朋学園大学特任教授、洗足学園音楽大学客員教授。この4月から東京音楽大学教授に就任。2018年よりスズキ・メソード特別講師。

### ヴァイオリン科特別講師：江口 有香



3歳よりスズキ・メソードでヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科に在学中、第55回日本音楽コンクール第1位。インディアナ州立大学音楽学部在学中にワシントン国際コンクール第4位。同大学卒業後1993年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第3位。帰国後はソロ活動、アンサンブル活動や後進の指導で幅広く活躍し、トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズ・コンサートマスター(2006年~2011年)、日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター(2007年~2014年)を歴任。2015年よりニュージーランド交響楽団アシスタントコンサートマスターを務める他、国内のオーケストラのゲストコンサートマスターを務める。これまでに8枚のCDをリリース。ヴァイオリンを蔵持典与、安田広務、故・鈴木鎮一、小林健次、故・J.Gingold、故・F.Gulli、Yuval Yaron、室内楽を故・J.Starker、故・G.Sebok各氏に師事。2018年よりスズキ・メソード特別講師。ニュージーランド在住。公式サイト：<https://eggyuka.jimdo.com/>

### ヴァイオリン科特別講師：荻原 尚子



豊田市出身のケルン WDR 交響楽団コンサートマスター。

4歳よりスズキ・メソードでヴァイオリンを始める。ベルリン芸術大学にて豊田耕児氏に、ハンブルク音楽演劇大学大学院にてコリヤ・ブラッハー氏に師事。ブラッハー氏のアシスタントを務め、2003年最優秀にて修了し、マーラー・チェンバー・オーケストラ入団。その後、2007年にケルン WDR 交響楽団コンサートマスターに就任し現在に至る。2002年の日本でのデビューリサイタル後、日本、ヨーロッパ、アメリカ各地でソロ・室内楽奏者としても活発に演奏活動を行ない、ケルン WDR 交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団などと共演をする。室内楽やオーケストラでは Luzern Festival(スイス・ルツェルン) やセイジ・オザワ松本フェスティバル等日欧の主要な音楽祭に招待される。

最近では読売交響楽団、京都市交響楽団にてゲストコンサートマスターを務める。2018年よりスズキ・メソード特別講師。

## チェロ科特別講師：倉田 澄子



チェロを堤清氏(剛氏父上)より手ほどきを受け、齋藤秀雄氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科在学中、日本音楽コンクールに入賞。同大学在学中フランス政府給費生として渡仏。P. トルトゥリエに師事。パリ国立高等音楽院のチェロ科と室内学科を首席で卒業。帰国後はリサイタルや N 響、都響、読響、日フィル他と共演。中国瀋陽音楽学院教授、ロシア・サンクトペテルブルグの音楽祭、フランスのマスタークラス等での指導の他、日本・ヨーロッパ・中国各地で演奏活動を重ねる。桐朋学園「第 7 回・生江賞」受賞。現在、桐朋学園大学名誉教授・特命教授。内外のコンクールの審査員を務めるなど後進の指導に力を注ぎ、レッスンビデオも多数。スズキ・メソッドとは 2003 年夏期学校での指導をきっかけに交流が深まり 2020 年 4 月より特別講師に就任。

## チェロ科特別講師：菊地 知也



6 歳より才能教育研究会の故佐藤良雄氏に師事。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学卒業。第 6、8 回霧島国際音楽祭にて奨励賞受賞。第 60 回日本音楽コンクール第 1 位、併せて増沢賞、特別賞受賞。第 1 回全日本ビバホールチェロコンクール第 1 位。霧島国際音楽祭などの多くの音楽祭に参加し、紀尾井ホール室内管弦楽団、アンサンブル・ノマド、アクロス弦楽合奏団、カルテット・プラチナム、アンサンブル・ロココのメンバーとしての室内楽活動やソリストとしても活躍。桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。現在、日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェリスト。一般財団法人日本チェロ協会理事。2020 年 4 月よりスズキ・メソッド特別講師に就任。

## チェロ科特別講師：山本 裕康



10 歳の頃よりスズキ・メソッド中島顕氏の元でチェロを始める。桐朋学園大学卒。同大学にて井上頼豊、秋津智承、山崎伸子、ピュイグ・ロジェ氏に師事。在学中、1987 年第 56 回日本音楽コンクール第 1 位、第 1 回日本室内楽コンクール第 1 位など数々の受賞歴を持つ。キジアーナ音楽院などで R. プレンゴラー氏の元で室内楽、2 重奏ソナタの研鑽を積む。1990 年東京都交響楽団首席奏者に就任。1994 年広島交響楽団客演ソロ奏者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者を歴任。サイトウ・キネン・オーケストラ、宮崎国際音楽祭に毎年参加。現在、東京音楽大学教授、京都市交響楽団特別首席奏者、東京藝術大学非常勤講師。日本チェロ協会理事、みやざきチェロ協会名誉会員。2020 年 4 月よりスズキ・メソッド特別講師に就任。

## フルート科特別講師：宮前 文明



9 歳よりスズキ・メソッドでフルートを始め、高橋利夫氏に師事。1977 年、巨匠マルセル・モイーズ氏の来日時のマスタークラスを最年少 11 歳で受講し、以降モイーズ氏にも師事。その後、医師免許・医学博士を取得、脳科学研究に十年間携わった後、フルート奏者として本格的な活動を再開。英国トリニティ・カレッジ・ロンドン演奏家ディプロマ取得。レオポルド・ベラン国際音楽コンクール第 1 位をはじめ、欧米の国際音楽コンクールにて受賞多数。日本、米国、欧州での活発な演奏活動の傍ら、医学的見地も取り入れた生理学的に合理的で無理のないアプローチをモットーとした奏法体系を構築し、音楽学校や大学でマスタークラスを行なうなど指導活動を展開している。現在、Levine Music フルード科講師(ワシントン DC)、米ピッツバーグ大学医療センター精神科研究員、総説「音楽経験と脳」(Brain and Nerve 2018 年 6 月号 医学書院)。2016 年より国際スズキ・メソッド音楽院教授、2018 年よりスズキ・メソッド特別講師。

## ピアノ科特別講師：臼井 文代



4 歳より、スズキ・メソッド松本支部にて、ピアノとヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。ベルリン芸術大学ピアノ科卒業。ベルリン芸大在学中は豊田耕児先生クラス他にて伴奏も学ぶ。1990 年パリにおける第 8 回クロード・カーン国際ピアノコンクール第 3 位。1998 年カワイクラシックオーディション ピアノ伴奏部門優秀賞。帰国後は 1996 年より現在まで国際スズキ・メソッド音楽院他にて伴奏・ピアノ指導を通じて多くの指導者養成に携わってきた。また、安曇野市でのモーツァルト・ベートーヴェンのピアノソナタ全曲演奏を含む 45 回に渡るサロンコンサートなどの意欲的なソロ活動に加え、多彩なアンサンブル活動も行っている。ピアノを片岡ハルコ、辛島輝治、R. ベッカー、G. シェボックの各氏に師事。現在、長野音大予備校講師。2020 年 4 月よりスズキ・メソッド特別講師に就任。

【准指導者制度・初級指導者制度 各科担当指導者】

地区	ヴァイオリン科	チェロ科	フルート科	ピアノ科
北海道 ・ 東北	佐々木 勲(宮城) 立木 里恵(北海道) 田中 洋子(福島)	井上 弘之(福島・宮城)		菅野 由美(宮城) 古木 裕美子(北海道)
関東	青木 博幸(東京) 印田 礼二(千葉・東京) 上野 日出子(東京) 川沼 文夫(栃木) 橋本 璋子(千葉) 牧野 郁子(神奈川) 正岡 紘子(東京) 守田 千恵子(神奈川・東京) 安田 廣務(東京)	河地 正美(東京) 佐藤 明(神奈川・東京) 佐藤 満(神奈川・東京) 寺田 義彦(千葉・東京) 宮田 豊(東京・栃木)	岩波 寿美(神奈川・千葉・東京) 中田 英里(神奈川・東京) 宮地 若菜(東京)	秋葉 三佐子(千葉) 石川 咲子(東京) 印田 倫子(千葉・東京) 奥田 智恵子(東京) 河津 史子(千葉) 嶋田 幸子(埼玉) 鈴木 宏子(東京) 鈴木 祐子(東京) 永田 香代野(神奈川) 三谷 紀子(神奈川) 森 士好子(千葉)
甲信	佐々木 衣子(長野) 結城 三紀子(長野)	北沢 加奈子(長野)	植田 理恵(山梨) 安間 由佳(山梨)	大崎 静子(長野) 河村 圭子(長野) 出澤 江之木(長野) 藤原 亜矢子(長野)
北陸越	中川 洋司(富山) 納原 久顕(石川・富山)			荒井 美紀子(福井)
東海	末廣 悦子(三重) 長谷川 敏子(愛知・岐阜) 牧野 千世(岐阜)	中島 顕(愛知・岐阜)	佐藤 延子(愛知) 矢島 朝子(岐阜)	奥村 美保子(愛知) 杉本 弘子(愛知)
関西	塩谷 峰子(奈良) 杉山 笙子(大阪) 松本 尚三(兵庫)			伊藤 千代子(京都) 大滝 恵子(兵庫) 上久保 麗(大阪) 田中 和子(大阪) 橋爪 宏子(兵庫) 渡辺 裕里子(兵庫)
中国 ・ 四国	金子 典子(高知) 中村 素子(山口)			内川 真紀(高知) 梶本 馨子(徳島) 中西 由紀子(香川) 宮崎 洋子(愛媛) 横山 恵美子(広島)
九州	石川 洋子(福岡)			久保田 英津子(福岡) 山本 ミキ(福岡)
沖縄	清水 良(沖縄)			前花 玲子(沖縄) 松川 栄子(沖縄)

2023年9月現在